

(尚“海辺生物写真”「馬場 1958」では P. japonica となつてゐる。)

### III すかしばん *Astriclypeus manni*. Verrill

..... (♀♂不明 1 個体)

前種と同個所で海底の砂中に浅く埋もれているものを採集した。

### IV かめのこふしえらがいの一種 ..... (5 個体)

長さ 18~12 mm、巾 11~9 mm の長楕円形、体表は亀甲形若しくはそれに類似した形の斑に覆われ、触角円筒状一対、生殖門は鰓の前に開く、貝殻は認められない。

以上(田尻利広記)

## 勝山市岩屋方面植物採集記

昭和 34 年 5 月 10 日日本年度第 1 回の採集会を勝山市岩屋方面で行つた。非常に雲の多い今にも降り出しそうな天候であつたため参加者が少なかつたが、小舟渡駅前へ集合した者は勝山中学校生徒 20 名、松本小学校生徒 6 名を含めて 38 名であつた。生徒が多いので路傍の草から採集を始めた。

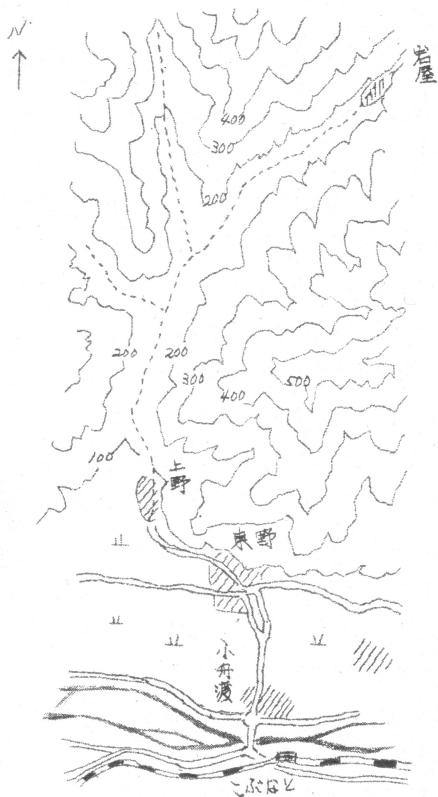
主な採集品は次の如くである。

### 平野部(小舟渡駅前—東野)

カスマグサ、ナズナ、ミズタビラコ、コモチ  
マンネングサ、カワジサ、キウリグサ、ヒロ  
ハコンロンソウ、ミズキ、トキワハゼ、ツルナ  
シヤハズエンドウ、ヘビイチゴ、ウマノアシガ  
タ、タガラシ、トラノオシダ、オクマワラビ、  
トウバナ、コジユズスゲ、スズメノカタビラ、  
スズメノテツポウ、オウイチゴツナギ、ウメバ  
チモ、フサモオヤブジラミ、カサスゲ、

### 山間部(東野—岩屋)

シャク、ヤブニンジン、クサノオウ、ムラサキ  
ケマン、イブキヌカボ、カテンソウ、アイズス  
ゲ、ヌカボシソウ、ヤワラスゲ、ニシノホンモ  
ンジスゲ、オタルスゲ、ヒメヘビイチゴ、ジヤ  
ニンジン、ノブキ、ウマノミツバ、トボシガラ  
、ヌカボ、カニツリグサ、ヤブデマリ、クマ



シデ、ナルコユリ、ムシカリ、コナラ、ドジョウツナギ、タテヤマスゲ、アブラチヤン、ダンコウバイ、タニスゲ、オヘビイチゴ、ミヤマキケマン

(寒蝉義一記)

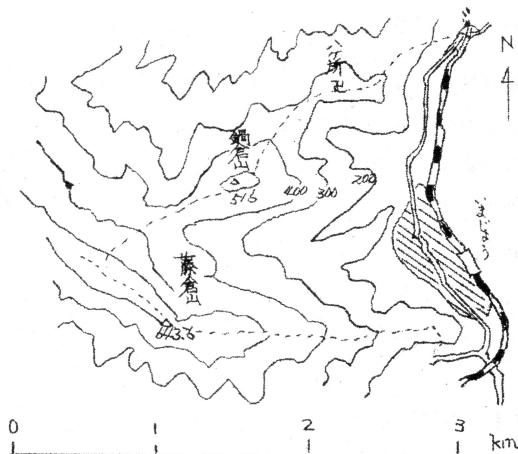
## 南条郡鍋倉山植物採集記

昭和34年6月14日南条郡今庄町鍋倉山で植物採集会を行なつた。始めは藤倉山を予定していたが、今庄中学校の京藤先生のアドバイスにより鍋倉山に変更したのである。参加者約20名主な採集品は次の如くである。

### ・今庄中学校附近

カモジグサ、カナムグラ、  
ドクダミ、ヤワラシダ、ヌマ  
ダイオウ、ウシノミツバ、  
ドジョウツナギ、ナギナタガ  
ヤ、クルマバナ、ダイコンソ  
ウ、ムシトリナデシコ、ヤブ  
ヘビイチゴ、ハコベ、カニツ  
リグサ、クズ、コウゾリナ、  
チガヤ、

シイ(日野川沿岸ではこの辺  
まで分布?)



### ・八ヶ所参道口

木本科一種、ニワウルシ、カラスザンショウ、クサヨシ、ムラサキシキブ、コジキイチゴ、エゴノキ、ヤマツツジ、コバノガマズミ、クジヤクシダ、コナスビ、ヌカボシソウ、ゴヨウアケビ、サイゴクベニシダ、フモトンダ、ヤブソテツ、イヌガヤ、サワフタギ、カジノキ、イワヒメワラビ、フユイチゴ、イカリソウ、ヤブタビラコ、ナライシダ、マユミ、ウツギ、アカメガシワ、ヤクシソウ、ウラジロガシ、ハイイヌガヤ、コハウチワカエデ、コウヤボウキ、ソヨゴ、サンカクヅル、ダンコウバイ、ネムノキ、イヌシデ、ネジキ、タムシバ、イソノキ、ナンキンナナカマド、ミズナラ(300m辺)、コシアブラ、エゾユズリハ、ウリカエデ、サイゴクミツバツツジ、アオハダ、クルマバハグマ、タチシオデ

### ・八十八ヶ所

レンギョウ(裁)、ハウチワカエデ、ササユリ、ハイシキミ、クロモジ、ハネミイヌエンジユ、イワウチワ、ママコナ、クロソヨゴ、コバノトネリコ、ホツツジ、ブナ(400m附近)、ウラジロノキ、ホナガクマヤナギ、ノギラン、ウスギヨウラク、コアジサイ、